

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	松阪市	代表者名	竹上 真人		
担当者部署	デジタル未来戦略局	連絡先電話番号	0598-53-4363		
担当者役職	主任	担当者氏名	上村	連絡先E-mail	s.uemura@city.matsusaka.mie.jp
住所	515-8515 三重県松阪市殿町1340番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	家中 賢作
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	研修計画に対する適切な助言、本市の状況に合わせた講演内容のカスタマイズ対応等
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年5月17日	事前打合せ(オンライン)	有	令和5年5月24日	666
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年5月19日	事前打合せ（オンライン）	13時00分	14時30分	
				活動時間（分）	90
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	DX人材育成担当	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DX研修を体系的、計画的に実施するため育成方針案及び育成計画案を策定中 データ利活用研修を必須研修としてデータリテラシーの向上をはかりたい	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DX研修を体系的、計画的に実施するため人材育成方針及び具体的な年次研修計画について庁内で承認を受ける。データ利活用研修を必須研修として対象者・実施方法を決定し、データリテラシーの向上に向けたコンテンツとする。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	データ利活用研修の全体像と期待値の考え方。 各自治体で行われているデータ利活用研修の情報提供	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	5年度研修計画において、データ利活用研修の受講対象者や具体的なメニューの決定ができた。 育成方針について、庁内人材育成について、懸念点や助言を講師の経験から教示いただいた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	次回、実際に研修を実施していただく	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	実施していない	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成方針に沿って体系的な人材育成が効果的に実施できていること データ活用研修によって全職員のデータリテラシーが向上していくこと 	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

